卒業論文

地方都市における地域交通の現状と課題

平成 19 年入学
九州大学　文学部
社会学・地域福祉社会学分野
平成 23 年 1 月 7 日提出

要旨

本論文は、公共交通機関が利用しづらい（または利用できない）地方都市において、自動車を利用することができず移動に困難を生じている移動制約者に対する、有効な交通サービスとは何かを考えていくものである。

第一章では、まず第一節で移動制約者の生じた背景を理解するために、地方都市が車社会へと移行した経緯を自動車の普及と公共交通機関の衰退という点から整理し、同時に人々が交通手段として自動車を選択するようになっていったことを示した。続いて第二節には移動制約者が交通手段がないことで実際にどのような困難を抱えているのかを記述し、第三節で公共交通の意義にふれた。

第二章では移動制約者に対する交通サービスとしての自家用有償旅客運送等に注目し、その内容や、普及・促進を図る動向について説明した。

第三章からは実際に地方都市で行われている交通サービスの事例を通して、自家用有償旅客運送等の地域における有効性を検討していく。まず大分県宇佐市のコミュニティバス事業をとりあげ、行政主体の交通サービスの限界を指摘する。

第四章では、第三章を踏まえて住民主体の交通サービスに注目し、山口県油谷角山地区の事例を通してその成立要因や課題を示す。

最後に第五章で、大分県宇佐市で住民主体のサービスを導入する上での課題をあげ、本論文をしめくくった。

目次

はじめに 1
第一章　移動制約者の発生 3
　第一節　車社会への移行 3
　　（１）自動車の普及 3
　　（２）公共交通機関の衰退 4
　第二節　移動制約者に関わる生活問題 5
　第三節　公共交通の意義 8
第二章　自家用有償旅客運送 9
　第一節　自家用有償旅客運送の可能性 9
　第二節　自家用有償旅客運送とは 9
　第三節　道路運送法の改正と自家用有償旅客運送等の関係 14
第三章　地方都市の事例　宇佐市 20
　第一節　宇佐市の概要 20
　第二節　宇佐市の交通事情 21
　第三節　調査概要 25
　第四節　コミュニティバス「ふれあい号」 26
　　（１）コミュニティバス導入の経緯（宇佐市地域交通計画） 26
　　（２）運行状況 27
　　（３）行政による交通サービスの限界 28
第四章　住民主体の交通サービスの事例　角山地区 31
　第一節　長門市の概要 31
　第二節　長門市の公共交通事情 32
　第三節　角山の概要 33
　第四節　調査概要 33
　第五節　角山山坂見守り隊 33
　　（１）角山山坂見守り隊設立と長門市地域福祉計画の関係 33
　　（２）角山山坂見守り隊の概要 34
　　（３）移送サービス概要 35
　　（４）分析 35

第五章　住民主体の地方都市交通 41
おわりに 43
参考文献・Web ページ..... 44
謝辞 46